



2023
03 No.764

交流を通して漁業者のつながりを深める



宮崎事業所給油ポンプ



観光・物産PRブース

しょうゆ節振る舞い

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

機器等導入事業・セーフティーネット構築事業
申請スケジュールについて

2023年1月漁業生産統計(属人)

2023年1月末の対前年比較属人水揚げ表

BUSINESS

業務情報

黒潮が育む延岡の魚“メヒカリ”を使用!
-ごちむすび めひかりの天ぷら発売-

自動給油ポンプ初納品!

自動給油施設 新設のお知らせ

MERGER PROPULSION

合併推進部

合併推進協議会作業部会の開催

EVENT INFORMATION

イベント情報

日南市産「かつお醤油節」が
マカロニ商店にて販売!

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

2022年度第8回理事会

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

宮崎県の海面養殖で発生した
新たなレンサ球菌症とは

—増養殖部—

RELATED ORGANIZATION

関係機関

宮崎県旋網漁業組合 令和5年度通常総会

令和4年度磯焼け対策全国協議会

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会 第1回役員会

2月の動き(漁連関係)

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。



機器等導入事業・セーフティネット構築事業

申請スケジュールについて

令和4年度補正機器等導入事業 申請スケジュール

全国説明会	2月2日(木)
各県域申請希望者 一覧提出日	3月31日(金)
計画申請書 提出締め切り	4月10日(月)
機器審査委員会	5月下旬～6月初旬
計画承認日	6月初旬～中旬
交付決定日	6月初旬～中旬

令和5年度セーフティネット構築事業 申請スケジュール

全国説明会	2月2日(木)
申込受付	3月31日(金)
入金受付(1期)	6月30日(金)
満了返還支払い(返還希望者のみ)	7月末
令和4年度購入数量ペナルティー対象者通知	7月末
令和4年度購入数量ペナルティー免除申請受付	7月下旬～8月中旬
令和4年度購入数量ペナルティー通知	9月上旬

2023年1月漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			3,113 423,398		17 4,491		23 16,583	0 384	2 3,703	3,155 448,560
島浦町		29 32,934	123 17,122	3 2,276				30 33,886	15 8,311	200 94,529
延岡				2 534	1 484	2 625			0 900	4 2,543
延岡市				1 385	6 26		26 12,962	1 1,226	3 3,913	36 18,512
庵川		41 33,909			2 1,130		12 6,377	9 6,480	3 2,443	66 50,339
門川		3 4,943		2 636	2 707				3 1,768	10 8,053
日向市	2 1,242	205 214,723		1 485		3 933	28 11,474	0 311	3 2,773	243 231,942
都農町		28 28,561		1 1,017					3 1,754	31 31,332
川南町		207 213,263		9 9,301	1 580				15 15,649	231 238,794
一ツ瀬				1 1,023	1 547				5 3,314	7 4,884
穂浜				1 839		0 73			2 1,283	3 2,195
宮崎		34 63,446				3 795			4 2,696	41 66,936
宮崎市		19 15,035	25 1,904	5 6,255	1 328	1 138	14 8,848		0 484	64 32,991
日南市		150 109,107		3 2,387			16 9,363		3 9,003	173 129,860
南郷	0 1	121 57,474		3 3,668			73 26,816		6 2,008	203 89,966
栄松		8 7,899		5 5,512					1 675	14 14,086
外浦		24 9,859					11 5,033		0 420	36 15,311
串間市東		14 17,044		1 471			102 34,052		22 14,330	139 65,897
串間市				0 233		0 54	1 444	1,257 647,045	0 680	1,258 648,455
合計数量	2	884	3,261	36	29	8	306	1,297	89	5,913
" 金額 (魚価)	1,243 785	808,196 914	442,424 136	35,022 966	8,293 283	2,617 310	131,953 431	689,332 531	76,106 854	2,195,186 371
前年数量	70	788	2,329	44	13	2	177	1,278	80	4,782
" 金額 (魚価)	47,754 678	782,298 993	228,860 98	33,928 779	5,400 407	1,945 810	83,298 471	742,447 581	65,638 821	1,991,568 417
数量増減	-69	96	932	-7	16	6	129	19	9	1,131
" 対比(%)	-97.7	12.2	40.0	-16.8	121.0	251.3	73.1	1.5	11.5	23.7
金額増減	-46,510	25,898	213,563	1,094	2,893	672	48,655	-53,115	10,468	203,619
" 対比(%)	-97.4	3.3	93.3	3.2	53.6	34.5	58.4	-7.2	15.9	10.2
魚価増減	107	-79	37	187	-124	-500	-40	-49	33	-45
" 対比(%)	15.7	-7.9	38.1	24.0	-30.5	-61.7	-8.5	-8.5	4.0	-10.9

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2023年1月の対前年比較属人水揚げ表

区分 漁協名	1月分			前年同月との比較					
				昨年同月			増減		魚価 対比
	数量	金額	魚価	数量	金額	魚価	数量	金額	
	t	千円	円/kg	t	千円	円/kg	t	千円	%
北浦	3,155	448,560	142	2,230	215,341	97	925	233,219	47.2
島浦町	200	94,529	472	152	71,326	470	48	23,203	0.5
延岡	4	2,543	584	2	1,501	773	2	1,042	-24.5
延岡市	36	18,512	517	45	21,734	482	-9	-3,221	7.4
庵川	66	50,339	760	101	64,293	637	-35	-13,954	19.3
門川	10	8,053	826	5	3,034	626	5	5,019	32.0
日向市	243	231,942	956	238	258,899	1,087	4	-26,957	-12.0
都農町	31	31,332	999	43	37,881	884	-11	-6,549	13.0
川南町	231	238,794	1,032	240	225,283	938	-9	13,511	10.0
一ツ瀬	7	4,884	748	8	5,497	728	-1	-612	2.8
憶浜	3	2,195	848	4	2,376	650	-1	-181	30.5
宮崎	41	66,936	1,651	65	69,223	1,062	-25	-2,287	55.4
宮崎市	64	32,991	515	45	36,673	808	19	-3,682	-36.3
日南市	173	129,860	751	123	121,289	983	50	8,571	-23.6
南郷	203	89,966	444	124	67,955	550	79	22,011	-19.3
栄松	14	14,086	1,028	12	11,742	949	1	2,343	8.3
外浦	36	15,311	431	11	12,623	1,110	24	2,689	-61.2
串間市東	139	65,897	474	76	42,400	561	63	23,498	-15.5
串間市	1,258	648,455	515	1,258	722,498	574	0	-74,043	-10.3
合計	5,913	2,195,186	371	4,782	1,991,568	417	1,131	203,619	-10.9

端数処理の関係で、下一桁が合わない部分があります。

黒潮が育む延岡の魚“メヒカリ”を使用！

-ごちむすび めひかりの天ぷら発売-

株式会社南九州ファミリーマート（本社：鹿児島市真砂本町）にて宮崎県延岡市で水揚げされた“メヒカリ”を使用した『ごちむすび めひかりの天ぷら』を2月14日（火）より宮崎県・鹿児島県のファミリーマート392店舗（2023年1月末現在）にて期間限定発売しました。

商品概要は、宮崎県延岡市で水揚げされた”メヒカリ”をカレー風味の天ぷらに仕立て、中具に詰めたおむすび『ごちむすび めひかりの天ぷら』です。宮崎県産の地域食材を使用することにより、地産地消・地域活性化に繋がる取組でした。告知につきましては、MRTテレビの『Check!』やMTRラジオ『GO!GO!ワイド』スクーピーにも取り上げられ消費者へ宣伝効果もあり、発売後2週間で2万食を越える実績となりました。

今後、同社と連携し宮崎県産水産物の普及及びPR活動を進めて参ります。



～ 自動給油ポンプ初納品！～

本会購買課にて初めて自動給油ポンプ：mobIFITTO（モビフィット）を取扱、納品した様子をご紹介します！

このmobIFITTOとは、危険物取扱資格・免許が不要で、消防法適合の特性から漁業者への給油時の負担軽減が見込める商品として取扱いを始めました。そして初導入として串間市東漁協への納品となりました。今回納品した300Lタンクは軽トラックの荷台半分ほどの大きさとコンパクトで、どこへでも運搬できます。

他にも容器内容量が190L、200L、430Lがあり、ホースの長さもパーツを使って変えることができ、状況に応じた使用が可能です。mobIFITTOの詳細情報は宮崎県漁連本所・購買課までお願いいたします。

容器内容量：300L
注入ホース：8m



給油中



～自動給油施設 新設のお知らせ～

昨年より宮崎港水門に隣接しております本会石油施設内に自動給油施設の新設工事を行っており、2023年2月10日(金)に完成いたしました。

漁船へのスムーズな燃料給油と安全性向上を目的とした当施設の新設にあたり、多大なるご協力を賜りましたこと感謝申し上げます。また今後につきましても、更なる全面系統利用のご理解・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。(詳細につきましては、宮崎県漁連まで)



忘れてませんか？あなたの命を守る大切なもの

救命衣、着用していますか？

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会 購買事業部 0985-28-6111

宮崎県漁業就業者確保育成センター 宮崎県漁業協同組合連合会

合併推進協議会作業部会の開催

県一漁協合併推進協議会（会長：宇戸田 定信）は2月1日（水）に水産会館大研修室において、標記会議を開催した。

協議内容については以下のとおりである。

協議事項

- (1) 合併基本計画書（案）の協議について
 - ① 組織体制について
 - ② 前回の各部門委員会からの修正点、継続協議について
 - ③ 財務関係に協議について
- (2) その他

宮崎県一漁協に 向けた検討が始まりました。

合併の 必要性

組合員の減少による漁協収入の減少が続いています。このため、漁協は、支出の削減と組合員負担の増加による経営改善努力を行っています。

しかし、施設の更新等、新たな投資を考えると厳しい状況であり、これまでの対応では限界があります。

このような状況を解決し、持続可能な体制とするためには県内漁協が結束して、県一漁協合併を実現する必要があります。

合併の目的

- ① 組合員負担を妥当なレベルとし、組合員の所得向上に貢献できる漁協経営の実現。
- ② 漁協の経営基盤を持続可能なものとするため、適切な事業利益の実現。
- ③ 将来に渡って職員の安定確保や育成ができる漁協の実現。



日南市産「かつお醤油節」がマカロニ商店にて販売！

宮崎県日南市の郷土料理「かつお醤油節」は、日本一のかつお船団が水揚げしたかつおを下茹でしたあと、背骨や皮・小骨などを手作業で丁寧にとり除き、砂糖・醤油・酒・みりん・焼酎などで煮込み、時間をかけて味をしみこませ、てまひまをかけて作られます。

女性に人気の食と暮らしのメディア「macaroni」にて「かつお醤油節」を使ったレシピ「究極のねこまんま」が公開されました。また、オンラインセレクトストア「マカロニ商店」では、macaroni 編集部がセレクトした宮崎日南市産の「かつお醤油節 食べ比べ3点セット」の予約販売がスタートしました。



関東地区を中心に宮崎グルメ情報を発信している「でげうめー！みやざきグルメ事務局*」のニューズレター（2月6日）に「宮崎県の海の幸！」が掲載されましたので、ぜひ、ご覧ください。

*でげうめー！みやざきグルメ事務局 「みやざき食の魅力発信・販売促進事業」（県産業政策課）

本県の食の魅力を効率的・効果的に県内外に発信することを目的として、県が(株)サニーサイドアップにPR事務局の運営を委託し、関東を中心に広くメディアにPRする事業。ニューズレターはPRタイムズというページに載る形でプレスリリースされます。水産物関係では、ふるさと納税返礼品特集の中でキャビアとイセエビがプレスリリースされています。

WBC ファン500人に「かつお角煮」を振る舞い！



漁獲量日本一を誇る近海かつお一本釣り漁業をPRしようと、県の「県産農畜水産物応援消費推進事業」の一環として、県水産政策課と宮崎のさかなビジネス拡大協議会は2月23日、WBC日本代表が合宿を行っている「ひなたサンマリスタジアム宮崎」で日南市のかつお角煮 500人分の振る舞いを行いました。また、キャンプ来場者を対象としたクイズのプレゼント企画では「めいつの干物セット」や「ロシアチョウザメのキャビア」が賞品として提供されました。

■宮崎のさかなビジネス拡大協議会

2022年度第8回理事会

漁連は、2月27日(月)、宮崎県水産会館4階第一研修室において2022年度第8回理事会を開催し、次の事項について議案審議及び報告を行い、全議案とも原案通り承認された。

報告事項

- (1) 2023年1月末損益概況について
- (2) 石油類の価格改定について
その他

附議事項

- 第一号議案 諸規程の一部改正に関する件
第二号議案 事業計画に関する件
その他



宮崎県の海面養殖で発生した新たなレンサ球菌症とは

—増養殖部—

1 はじめに

本県の海面養殖は県北部及び県南部の沿岸域で小割生簀により営まれており、ブリ、カンパチ、マダイ、シマアジなど様々な魚種が生産されています。海面養殖では様々な感染症が発生しますが、その中で重要な感染症の一つとしてレンサ球菌症が挙げられます。国内の海産魚で発生する「レンサ球菌症」と呼ばれる細菌感染症は、 α 溶血性レンサ球菌症（以下「 α レンサ」という）、 β 溶血性レンサ球菌症（以下「 β レンサ」という）、ランスフィールドC群レンサ球菌症（以下「C群レンサ」という）及びストレプトコッカス・パラウベリス感染症（以下「パラウベリス」という）に大別されますが、その中で近年、本県海面養殖で大きな被害を与えているのが α レンサです。 α レンサは、1974年に初めて確認され、1990年代に原因細菌の多剤耐性化が進んだこともあり、国内養殖の生産に深刻な被害を与えてきましたが、1997年に承認された経口ワクチンおよび2001年に承認された注射ワクチンの普及により被害は減少し、ワクチンが市販化されてから2012年頃までの間は、年間で1件魚病検査するかしないかの珍しい病気となっていました。しかし、他県で2012年に市販ワクチン接種後のブリで α レンサの発生が確認されたのを皮切りに、本県も含め国内で α レンサの再流行が発生し大きな問題となりました。この感染症について研究が進められた結果、従来のワクチンの血清型をI型とした場合、2012年以降に発生した血清型をII型とするよう定義づけられました。幸いなことにII型に対するワクチンは発生から4年後の2016年に市販が開始されました。ワクチン接種が進められている現在でもII型の発生は継続していますが、II型ワクチンの市販化前と比べると被害は減少傾向にあります。このように、これまで1種類の血清型のワクチンでコントロールできていた α レンサは、新たなタイプの流行により複数の血清型のワクチンを接種しないと感染症の予防が難しくなりました。

さらに、2021年9月以降、I型およびII型に対する混合ワクチンを接種済の養殖カンパチにおいて α レンサと類似の感染症が確認されるようになりました。その後の研究で、分離された細菌の血清型はI型およびII型と異なることがわかり、私たちはこれまでの感染症と明確に区別するため「III型」と呼称することを提案しています。この新しい α レンサ「III型」はブリ、シマアジ、クロマグロ、ヒラメ、マアジ、イサキ及びウマヅラハギといった幅広い魚種で確認されており、特に本県のカンパチ及びシマアジ養殖では大きな魚病被害が発生しています。そこで今回は新たに発生した α レンサ「III型」について、これまで分かったこととお話しします。

2 α レンサ「III型」の症状とは

まずは α レンサ「III型」の症状についてカンパチを例に御紹介します。III型は高水温期（夏季）を中心に発生します。図1Aに示す眼球白濁や図1Bに示す尾柄部膿瘍形成、また鰓蓋内側の発赤を示すこともあります。特に当歳魚では外観上、無症状の場合もあります。異常行動としてはキリキリ舞って泳ぐ狂奔遊泳を示す場合もあります。このような症状は「レンサ球菌症」において共通して見られる症状です。 α レンサ「III型」が確認された2021年8月において、ワクチン接種済みの病魚で尾柄部膿瘍形成を示すものが多かったこともあり、高水温期に発生が多く同様の症状を示し市販ワクチンが効かないC群レンサと誤認されるケースがありました。このように外観上の観察や魚の行動だけではどの「レンサ球菌症」が発生しているか区別することはできません。また、C群レンサと α レンサ「III型」では良く効く治療薬の種類が異なります。このため、レンサ球菌症の発生が疑われた場合は水産試験場又は最寄りの農林振興局に御相談をお願いします。



図1 III型を発症したカンパチ病魚の症状

A : 眼球白濁, B : 尾柄部膿瘍形成

3 あなどれない病原性

III型を確認した私たちが最初に調べたのは、海面養殖魚に対するIII型の病原性です。感染症の対策を考える上で病原性の確認は非常に重要で、例えば投薬前の餌止めやビタミン剤の投与、適切なタイミングでの抗菌剤投与といった従来技術の組み合わせで対策が打てるのか、新しいワクチンを開発しないと抜本的な対策が見込めないのか、見極めることができます。今回はブリ、カンパチ、シマアジをモデルに病原性を調べました。その結果、ブリとカンパチ及びシマアジでは病原性の程度が異なることが分かりました。

まずはカンパチの結果から述べます。カンパチでは攻撃2日後には死亡が始まり、高い致死率を示しました。また同様の結果がシマアジでも得られています。これは1990年代に猛威を振るったαレンサ「I型」に匹敵する病原性です。続いてブリの結果をお示しします。ブリではカンパチより病原性が低いものの高い濃度の菌量で攻撃した試験区では70%以上の死亡率が確認された(図2)ことから、一定程度の病原性があると判断しました。また、ブリにおいては絶食条件下では死亡率が低くなるといった現象が確認されました。昔から言われることではありますが、治療効果を高めるため「投薬前の餌止め」は有効とされ、今回の試験結果でも「餌止めの有効性」を後押しする結果が得られていますので、少なくとも投薬2日前には餌止めをしてから投薬するよう心がけてください。

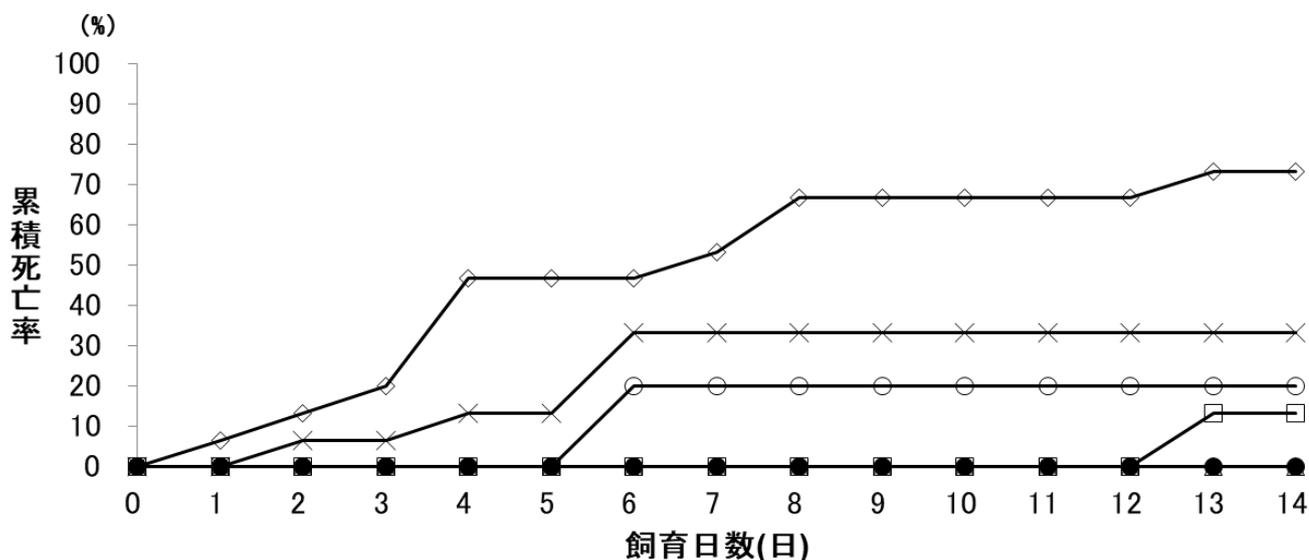


図2 III型菌株で攻撃したブリの死亡状況(攻撃後5日間、飽食量を給餌)

攻撃菌量 : (CFU/尾) : 2.3×10^3 (○), 2.3×10^4 (△), 2.3×10^5 (□), 2.3×10^6 (×), 2.3×10^6 (◇), 対照区 (●)

3 ワクチンで予防できるのか

今回発生した α レンサ「Ⅲ型」では、市販ワクチン接種済みの魚で発生しておりますので、新型コロナウイルス感染症の報道で社会認識された「ブレイクスルー感染」（ワクチンを接種しても感染する事例）があったと理解しています。ただ、市販ワクチンの効果が全く期待できないのか、あるいは多少なりとも効果が期待できるのか疑問が残ります。このためワクチン試験を実施しました。この試験ではⅠ型のみ又はⅠ型・Ⅱ型を含む市販ワクチン3種類とⅢ型菌株で試作したワクチン（以下「試作ワクチン」）の計4種類で試験を行いました。結果を表1に示します。全ての市販ワクチン接種区では高い死亡率を示したことから、残念ながら国内で流通する市販ワクチンでは α レンサ「Ⅲ型」の予防は期待できないことがわかりました。一方、Ⅲ型菌株から作製した試作ワクチン区は高い予防効果が認められましたので、ワクチンによる予防は可能と思われれます。このため、Ⅲ型ワクチンの早期実用化が期待されます。

表1 α レンサ「Ⅲ型」に対する市販ワクチン3種類とⅢ型試作ワクチンの有効性

試験区	累積死亡状況 (死亡尾数/供試魚数)	累積死亡率 (%)	RPS(%)	生残魚の腎臓からの 攻撃菌分離状況
Ⅲ型試作ワクチン接種区	0/21**	0	100	4/21
市販2種混合ワクチン接種区 (LGⅠ型のみ)	20/21	95	5	0/1
市販2種混合ワクチン接種区 (LGⅠ型 およびⅡ型)	21/21	100	0	-
市販5種混合ワクチン接種区 (LGⅠ型 およびⅡ型)	19/21	90	10	0/2
対照区（滅菌生理食塩水を接種）	21/21	100	-	-

4 最後に

このように新たに発生した α レンサ「Ⅲ型」は魚種によっては病原性が高く被害拡大の心配がある一方で、ワクチンによる予防が期待できそうです。既に一部のワクチンメーカーはワクチン開発に動き出したという話も伝え聞いております。今後、水産試験場は早期に効果的なワクチンが市販化されるよう国やメーカーに働きかけていきたいと思っております。

また、レンサ球菌症は外観による判別が難しいことや、適切な治療を行うために薬剤感受性の情報が必要であり、被害軽減の観点から、レンサ球菌症を含め感染症の発生が疑われた場合には、水産試験場（0985-65-6212）又は地元振興局（東臼杵農林振興局：0982-32-6135、南那珂農林振興局：0987-23-4312）まで御連絡ください。

このほか今年度から海面養殖業者に向けて県のメーリングシステムを活用し、プッシュ型の魚病・赤潮情報発信を行っています。養殖経営の安定化の一助になれば幸いです。

宮崎県旋網漁業組合 令和5年度通常総会

宮崎県旋網漁業組合（組合長：中島忠信）は、2月6日（月）に延岡市中小企業振興センターにおいて令和5年度通常総会を開催した。協議事項は下記のとおり。また、今年度は役員改選が行われ、（有）浩栄水産の宇戸田実也氏が新組合長となった。

協議事項	
第1号議案	令和4年度事業報告及び収支決算書について
第2号議案	組合員の脱退について
第3号議案	令和5年度賦課金の徴収について
第4号議案	令和5年度事業計画及び収支予算書（案）について
第5号議案	規約の一部改正について
第6号議案	役員改選について

新役員（任期：令和5年2月6日～令和7年度総会まで）			
役職名	氏名	所属漁協	所有者
組合長	宇戸田 実也	北 浦	（有）浩栄水産
理 事	菅野 教義	北 浦	（有）長漁丸
理 事	中島 忠信	島浦町	（有）鶴島網
理 事	清田 潤	島浦町	（有）春日丸
監 事	松比良 誠司	北 浦	（株）光漁丸
監 事	山下 香一郎	島浦町	（有）満丸水産



令和4年度磯焼け対策全国協議会

2月10日(金)に東京大学伊藤謝恩ホールにて令和4年度磯焼け対策全国協議会が行われた。

現地での開催は2年ぶりとなり、以下の通り議事が進められ、全国の事例紹介が行われ、活発に意見交換が行われた。



1. 開会

2. 議事

(1) 磯焼け対策に関する各地域からの報告

- ① 徳島県の岩礁性藻場と磯焼け対策
～現状と藻場増強の取組事例～
徳島県立農林水産総合技術支援センター
吉見 圭一郎
- ② 早熟性カジメの磯焼け対策への活用
神奈川県水産技術センター
木下 淳司
- ③ ヒジキの種苗生産の安定化に向けて
～LEDとメジナ類を用いた種苗生産技術開発～
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所
野田 勉
- ④ 漁港施設を活用した藻場造成に関する研究
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
森 健二
- 【休憩】
- ⑤ 江ノ島における磯焼け対策
江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクト
北村 治之
- ⑥ ウニ畜養ビジネスを通じた漁業者も地域も潤う磯焼け対策
一大分と山口での実績を踏まえて～
ウニノミクス株式会社
山本 雄万
- ⑦ 三重県熊野灘における藻場再生・維持活動
～Jブルークレジット認証プロジェクトの事例報告～
特定非営利活動法人 SEA藻
鈴木 望海

(2) パネルディスカッション

- 「海水温上昇に対応した藻場の保全・創造について」
- ① 話題提供「高水温に強い藻場造成への取組状況について」
水産庁漁港漁場整備部整備課
不動 雅之
- 【休憩】
- パネルディスカッション(討論・質疑)
コーディネーター
東京海洋大学 藤田 大介
パネリスト
三重大学 倉島 彰
(公財)海洋生物環境研究所 馬場 将輔
神奈川県水産技術センター 木下 淳司
(国研)水産研究・教育機構水産技術研究所 野田 勉
水産庁漁港漁場整備部整備課 不動 雅之

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会

第1回役員会

宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会（会長：江藤久義）は、令和5年2月13日、南郷漁協会議室にて第1回役員会を開催した。

内容については、令和5年度通常総会への提出議案関連の議案審議となった。

2月の動き（漁連関係）

1日	合併推進協議会作業部会
6～7日	宮崎県旋網漁業組合 令和5年度通常総会
10日	令和4年度磯焼け対策全国協議会
13日	宮崎県かつお・まぐろ漁業者協会 第1回役員会
27日	2022年度第8回理事会